

事業所名

ことばと発達の相談室おのまとペ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

14日

法人（事業所）理念		個人の尊厳を保ち、お子さんの安心・安全を保障した環境でその人らしい自己を実現し、社会の中で生きる力を育み、未来に繋げる。					
支援方針		一人ひとりのお子さんの持つ可能性を最大限に引き出すことを目指し、ご家族と多職種との連携のもとで個別のニーズに合わせて支援。					
営業時間		9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	なし
		支援内容					
本人支援	健康・生活	ご利用時の健康状態を観察・把握。その維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成に向けた支援方法を検討。 また、日々の睡眠、食事、排泄等習慣についてのアドバイス。 食事については摂食、食事環境などをお聞きし、姿勢保持、咀嚼、発音につながる食べ方への配慮についての各種助言。 その他、活動中の教室の空間をわかりやすく構造化した環境を整えて行動観察を行い、環境配慮の工夫を行う。					
	運動・感覚	それぞれのお子さんの感覚特性を理解、配慮した環境で、粗大運動（指導の中での姿勢・体幹）、聞く・みる・触れる（目と手の協調、運筆・はさみ他様々な微細操作）を楽しむ。 口腔器官の機能向上への取り組みの実施。					
	認知・行動	それぞれのお子さんの認知特性に合わせた課題や遊びを通じて、物の機能や属性、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の把握し使用できるよう促す。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる不適切行動の予防及び適切行動への対応の支援。					
	言語 コミュニケーション	言語発達・発達段階に応じた個別の課題や活動を通して、やりとり、ジェスチャー、音声など様々な伝達手段から活用できる手段の獲得を促す。 言語理解と表出、概念形成への支援。 保護者と共に課題となる言語・学習・コミュニケーションの環境を整備し、ご家庭でも取り組める方法を一緒に考える。 構音、吃音、読み書き支援への直接的な指導と環境整備。					
	人間関係 社会性	担当者を固定せず、それぞれの先生との様々な相互関係を構築しながら、安心安全な人間関係を築く経験を積む。 ソーシャルスキルトレーニングとして、課題や活動の中で基本的な他者とのやりとりや交渉の経験を通じて、他者視点への気付き、自己理解や参加を促す。 活動を通じた行動調整、仲間づくり。					
家族支援		・ 毎回、待機時間に保護者への聞き取り、指導後のフィードバックと課題となっているお子さんへの関わり方への具体的アドバイス。 兄妹児への子育て不安や具体的対応などの個別相談及びアドバイス		移行支援		・ 就園・就学に向けてお子さんの情報提供や個別の連携を行う・教育委員会の行事を通して保護者と情報を共有する	
地域支援・地域連携		保護者との面談を行い園や学校と相談支援事業所を交えた情報交換や、訪問電話等で連携支援を行う・利用者の在住する市町村の障害児支援の課との連携を行う		職員の質の向上		・ 県や市町村主催研修への参加・新しい知見やスキルを職員に浸透させる事業所内研修の実施・職員が利用者の支援計画の内容を理解し日々の支援に生かせるようにする（虐待、感染症、防災等も含む）	
主な行事等		・ 保護者会の実施。 ・ 本人支援を通じて、節句に応じた環境を整えたり季節や行事などを取り入れた題材を用いた療育内容にすることで、時節変化のある支援へつなげる					